

枇杷倶楽部 Presents

～澄み渡るウィーンの風～

驚愕のソプラニスト

アルノ・ラウニック 特別コンサート

p f みどり・オルトナー

現代のカウンターテナーとは一線を画し

男性ソプラノの芸術を現代に伝える

真のソプラニスト アルノ・ラウニック！

国立歌劇場での評価はもとより、

オペラ史上にも名を残す稀有のソリスト

2008年オーストリア共和国文化勲章受章

音楽の都ウィーンの本物の風に酔いしれてみませんか？

日 程：2014年11月16日（日）

時 間：開場：13：30～ 開演：14：00～

会 場：とみうら元気倶楽部 さざなみホール

チケット： 3,000円

※会場の席数が少ないため、お求めはお早めをお願いします。

曲 目：ピアニストの解説入りで楽しいプログラムです・・・詳細は裏面へ

お問い合わせ：とみうら枇杷倶楽部 Tel：0470-33-4611

主 催：株式会社 ちば南房総

後 援：南房総市・南房総市教育委員会・南房総国際交流協会



アルノ・ラウニック：現代を代表するソプラニストのひとり。8歳からウィーン少年合唱団でソプラノ・ソロを務め、カラヤンやベームらと共演。ベッシュ、シュヴァルツコップらの名歌手に師事し、1990年にオペラ・デビュー、アーノンクール、クップファーらと共演し、ベルリン国立歌劇場をはじめ、ドレスデン、チューリッヒ、ハンブルク等の第一級の歌劇場に出演。特にヘンデルのカストラートのための役、モーツァルト「皇帝ティトの慈悲」のセスト、「イドメネオ」のイダマンテ、グルックのオルフェオ等では他の追随を許さない。多数のCDをリリースし、2008年にはオーストリア共和国の文化勲章を受賞した。

みどり・オルトナー：東京芸術大学大学院（声楽）を終了後、ウィーンに渡り、国立音楽大学のピアノソロ科へ。1990年にソロデビュー、現在はドイツ・リートの巨匠ロベルト・ホル、アンゲリカ・キルヒシュラーガーなどとの共演を続けるウィーン在住の名ピアニスト。



プログラム ※都合により変更する場合があります。

- D. スカルラッティ：ソナタ集より
- A. グルック：「オルフェオとエウリディーチェ」より “エウリディーチェを失って”
- G.F. ヘンデル：「クセルクセス」より “ラルゴ”、「アルチーナ」より “慕わしきみどりの谷間よ”
：“リナルド”より “泣かせたまえ”
- G. カッチーニ：アヴェ・マリア
- F. シューベルト/F. リスト：ウィーンの夜会 第6番
- J. シュトラウス：「こうもり」より オルロフスキー侯爵のクープレ
- W. A. モーツァルト：「フィガロの結婚」より ケルビーノのアリア
- F. シューベルト：至福、まず、アヴェ・マリア
- W. A. モーツァルト：「皇帝ティトの慈悲」より セストのアリア “私は行く”

ほか。

とみうら元気倶楽部

千葉県南房総市富浦町原岡 88 番地 2

Tel：0470-33-3411

- **公共交通をご利用の場合：**
 高速バス：とみうら枇杷倶楽部バス停0分
 （東京、千葉、横浜・羽田より）
 電車：JR内房線 富浦駅下車
 徒歩15分
- **お車をご利用の場合：**
 富津館山道路富浦 IC 右折 1 キロメートル
 （都心から約1時間20分）

